

平成 18 年度 10 号
2007 年 2 月 1 日

住み良い町づくりへ
ご意見・情報をお寄せください。

元気！緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
発行人:多田 喜代則
編集:文化部会
投稿お届け先:芥見東公民館ポスト

新成人へ まずは当たり前のマナーから

——コモンヒルズ北山支部長・小川 悟

成人式に支部長として初めて参加しました。新成人の方々を見ながら自分の 18 年前を少し思い出しました。大学が広島で、そこで成人式を迎えたのですが、大きなアリーナに何千人かが集まる中で、成人になった実感はあまり湧きませんでした。

それに比べ、この地域の成人式は、少人数で、とてもまとまりのある良い式であった、と思います。来賓の方のお話もしっかり聴けましたし、参加者は成人したことをちゃんと自覚できたと思います。

皆さんには、これから自分のためはもちろん、地域社会のためにも活躍していただきたいと願います。私たち皆でこの芥見東地域を盛り上げていきましょう。『吸い殻は灰皿に棄てる』、まずは当たり前のマナーから守っていきましょうね。□■



芥見東小 全校で取組むキッズビクス 2

——教頭・足立 総一郎 先生

皆さん、東小の傍を通られると聞こえてきませんか？ウォルトディズニーの軽快なメロディーが。当校オリジナルとして、運動委員会が中心となって振り付けを考えたキッズビクス・パート 2 です。

学級遊びやそれぞれが遊具で楽しい昼休みを過ごしていると、校庭にこの音楽が流れます。遊びの途中の子どもたちも、自然にキッズビクス 2 のメロディーに合わせて身体を動かします。職員室から見るその姿は芥見東小学校の結束にも映ります。

「元気 健康づくり大作戦」として市の研究委託を受け、「元気いっぱい・元気いっぱい」・・自らの健康づくりに意欲的に取りくむ子を目指して・・を本校のテーマに、子どもたちは、2 月 1 日、第 3 回岐阜市学校保健大会において、このキッズビクス 2 をステージいっぱい披露します。□■

配布



1/8 成人式
60 名が出席
桜台市営支部の加藤祐美さんが新成人を代表して「社会に恥じない立派な成人になりたい」と誓いを述べました。

来賓から示唆に富むメッセージが・・・

◆皆さんは地域の宝。想う心を形にしてください◆
皆さんの先輩、高橋 Q ちゃんは決してくじけない。何事もプラス思考で◆心身の健康を大切に、相手を想い、社会に尽くして健全なお金儲けも◆10 世帯に 1 世帯はワーキング・ブア。この現実を直視して未来を見よう◆10 年前の夢は実現していますか？家族と話をしていますか？タテとヨコの人のネットワークを大切に◆人生にはどんでん返しがつきもの。また、小さなことにも幸せを感じて◆何事も始めることは大変。でも始めると面白い。自分の枠から出て、広い見方、考え方を —— 旧成人にも通じますね。

財政破綻した夕張市では、成人式の予算は 1 万円。新成人の 1 女性の呼びかけで全国から 237 万円が寄せられ、今年は 20 万円使い、残りは来年以降へどうぞ(・v・)☆

交通課題 アンケート調査を行います

先月号で、「やがてクルマに頼れなくなる」時が来ると、書きましたが、6 年ほど前に行われた「巡回バス実験運行」時(利用者は少なかった)と比べ、当地域はさらに高齢化が進みました。買い物や通院などの足の現状は？また、今後どうしたいか？巡回バスは必要ないか？など、近々、各ご家庭のお考えをお尋ねしますので、よろしくお願ひします。

1/23 連合会と社協では、乗客が増えだした日光コミバスに試乗、地域交流に一役買うバスの効用を体感しました。



地域防災 芥見東の消防団員を急募中！

——中消防団芥見分団長・篠田 雄治

芥見東地域の皆様には日ごろ消防活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、当分団の規模は、消防車2台、団員40名（定員どおり）ですが、団員の内訳は、芥見地区に28名、芥見東地区に7名、芥見南地区に5名です。

このように、芥見東地区は、世帯数の割りに団員数が少なく、大災害発生時の消防活動を考えると安全・安心の確保にいささか不安を覚えます。

そのうえ、日常活動での団員の負担を軽減するためにも、本地区の団員を今の7名から12～14名程度に増員したいです。

どうか、若い方を中心にして、消防団員（非常勤の特別職公務員）に手を挙げていただき、あなたご自身と大切なご家族を守るのに参考となる知識や技術も身に付けられることをお勧めいたします。

ぜひご応募ください。お近くの団員か、自治会長までどうぞ。 □■



昨年、市民運動会で雄姿を披露しました

団員同士、職域を越えた人のつながりができ社会勉強にも

近隣助け合い標語 入選に寄せて

車椅子 声かけ 手をそえ 笑顔そえ

——紅葉が丘支部・杉山 利久さん

昨年、分散開催された敬老会で、本地区は公民館が手狭なために、岐協苑を会場にお借りしました。準備のため苑へ度々お邪魔する中で、車椅子の方々の生活を間近に見せていただきました。

おひまち 地区の活性化につなげたい

——大洞支部長・加藤 正武

古来より先人が行ってきた地域行事の一つとして「おひまち」があります。これは、宗教的意味合いから、血族の融和団結を図る目的、あるいは組単位の結束、同好の士の懇親会など、それぞれの目的を持って引き継がれてきました。

おひまちによる地域の活性化やその推進は、今日、誰しもが意識し、積極的に参加して、その効果を認めていると思います。しかしながら、昭和30年代後半から日本社会の構造変化は急速に早まり、大洞区においても、宅地造成や地域開発が加速され、時代とともに適応していく必要がありました。

現在は、少子高齢化や世代交代に拍車がかかるとともに、大洞区を取り巻く環境もさらに多様化しつつあります。このことを真摯に受け止め、芥見東自治会連合会の一員として地域住民と一体となって作る「明るく・住みよい」町を船出させるべく、今年の「おひまち」を計画しました。

大洞区の良い伝統を継承しつつ、後世に引継げる自治体制の育成を目指して、本年度最後の行事「おひまち」を2月3日、盛大に開きます。

□■

芥見東まちづくり協議会が発足しました-1/26

・これからの町づくりは、行政主導から市民協働へ。会は、連合会を核に各種団体で構成され、「安全で住みよい町」を目指して、住民の皆さんの声を聞きながら、どういう町にしたら将来の子どもへの遺産となるか、を考え、実行していきます。

芥見東防犯パトロール隊も産声をあげました。

・各地で悪質な犯罪が増えています。春先から青色回転灯の車で、学校の下校時や夜間に巡回して犯罪抑止につなげていきます。公募により約130名の方が隊員に登録いただきました。 □■

決められたコースを黙々と歩まれるコンビあり、話しながら散策されるコンビあり、一方通行のお喋りコンビあり、そんな中で、時々声をかけながら笑顔でゆっくり周られるお二人の姿に胸を打たれました。

もし、自分が車椅子を押す立場になったら、押される立場になったら・・・その時にはこのような雰囲気がいいな・・・と思った次第です。 □■